



2025年2月21日

各 位

会 社 名 株式会社牧野フライス製作所
代表者名 取締役社長 宮崎 正太郎
(コード番号 6135 東証プライム)
問合せ先 専務取締役管理本部長 永野 敏之
(TEL : 046-284-1439)

ニデック株式会社と当社経営陣との面談予定についてのお知らせ

2025年2月14日付け「ニデックに対する『質問状(2)』への回答受領のお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社は同日付けで、当社が2025年2月7日付けでニデック株式会社(以下「ニデック」といいます。)に対して送付した「質問状(2)」(以下「第2次質問状」といいます。)に対する回答(以下「第2次回答書」といいます。)を受領し、その内容を精査しておりました。

もともと、第2次回答書の内容は、例えば、ニデックの機械事業本部セグメントを構成する、ニデック本体の事業部、並びにニデックの子会社及び関連会社全て具体的にご教示くださいとの質問(質問1(4))や、ニデックオーケーケーをはじめとした各子会社の従業員数の推移、①平均勤続年数、②平均年齢、③月平均残業時間、④有給取得率、⑤平均年間給与額に関する質問(質問2(2)、質問2(3))など、ニデックによる当社株式に対する公開買付けの提案(以下「本提案」といいます。)が当社の企業価値の向上に資するか否かを判断するために客観的に必要と考えられる情報の大部分につき、透明性を強く標榜されているにもかかわらず、公表情報以上の情報については回答を拒否されたり、抽象的な回答にとどまっており、当社の取締役会及び特別委員会はもとより、当社の株主の皆様が、上記判断を行うために必要な材料が十分に取得できたとはいえないとわざるを得ないと考えております。

当社としては、当社が2025年1月28日付けでニデックに対して送付した「質問状」(以下「第1次質問状」といいます。)に対するニデックからの同月31日付けの回答(以下「第1次回答書」といいます。)及び第2次回答書の内容の真偽や事実関係につき、当社の株主の皆様が本提案の是非を判断するために必要ないし有益と考えられる場合には、さらに質問状を発出することも検討しておりますが、第2次回答書においても、当社経営陣とニデックとの面談を強く要請されたこともあり、さしあたり、本提案が当社の企業価値の向上に資するか否かを判断するために客観的に必要と考えられる情報を取得することを目的として、当該面談に応じることといたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、可能な限り早期に面談を実施するべく調整しておりますが、年度末が近づく中で日程確保が難しいことも勘案し、まずは 2025 年 3 月上旬を目途に実施することを考えております。

当社は、経済産業省の「企業買収における行動指針」に則り、企業価値の向上および株主共同の利益の確保の観点から、本提案及びその他の代替策等、あらゆる戦略的オプションについても引き続き検討を尽くして参ります。

以 上